学校番号	３１２

令和２年度　芸術科〔美術〕

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	美術Ⅰ　（光村出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

与えられたテーマ、自己設定のテーマに沿って制作していく上での難しさと面白さを体験して、創造する事の醍醐味を学習します。
多様な美術について、自分なりの感じ方や表現を深めていく。
歴史的財産としての美術を「鑑賞」し、現代を表現する手がかりとする。

2　学習の到達目標

美術の幅広い活動を通して、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め創造的な表現と鑑賞能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。
一年次は、造形活動の基礎という位置付けでの展開になる。
授業を受ける際のマナー、準備、片付け、掃除等に力点を置いている。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	美術の創作活動の難しさや面白さを経験する。多様な美術の表現方法や、特に日本美術の特色魅力に関心興味を持ち、主体的に創作活動に取り組もうとする。意欲的態度で制作している。	感性や想像力を働かせて、感じたことや考えたことなどから、自らのテーマを生成練磨してより創造的な構想を練っている。思ったようにいかない事から常に適切に判断している。	創造的な美術の表現をするために必要な技術を身につけ、内容に応じて表現方法を工夫している。素材の特性をよく理解している。	表現された作品のアイデアや視覚的魅力を理解し、作品を通して作者と対話をする鑑賞力を養う。
評価方法	. 作品 ・制作態度	. 作品 ・制作態度	. 作品 ・制作態度	. 作品 ・鑑賞態度

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
一学期	鉛筆表現	.オリエンテーション .クロッキー .イメージデッサン 「言葉から想像画」	○	○	○		a:クロッキーの目的を理解し、鉛筆の特性を生かして表現している b:想像力を働かせて創造的な構想を練っている。 c:鉛筆の特性をよく生かしている。	作品 制作態度
一学期	油彩画①	.デッサン 「手」 .油絵について説明、学習 .道具、使い方の説明 .油絵 「マチエール遊び～手」	○	○	○	○	a:身近な「手」をモチーフに意欲的態度で制作している。 b:思ったように行かなくても積極的な制作態度で表現している。 c:油絵の特性を生かす努力をしている。 d:油絵の特性や多様な表現について理解しようとしている。	作品 制作態度 鑑賞態度
二学期	油彩画②	.デッサン 「友達」 .油絵 「友達の肖像」	○	○	○	○	a:デッサンの特徴を理解し意欲的表現をしている。 b:「友達」をよく観察して表現しようとしている。 c:油絵独特の技術を習得しようとしている。 d:互いの作品の良さを理解し作者と対話をする鑑賞力を養う。	作品 制作態度 鑑賞態度
二学期	彫刻	.抽象彫刻 石膏の原形を削って制作 .抽象についての説明、学習	○	○	○	○	a:立体制作に意欲的に取り組もうとしている。 b:美しい形をイメージし、制作途中で考え判断しながら表現しようとしている。 c:技術を練磨し表現しようとしている。 d:抽象彫刻の歴史を学習し、その面白さを理解しようとしている。	作品 制作態度 鑑賞態度

三学期	版画	.ドライポイント制作(塩ビ板) 版画について説明、学習	○	○	○	○	a:版画に興味関心を持ち意欲的態度で制作している。 b:左右反転する版画世界の面白さ、魅力を考えながら表現しようとしている。 c:凹版の中で最も簡単な技法、「ドライポイント」の特徴を引き出そうとしている。 d:日本のお家芸である「浮世絵木版画」について学習し、自ら創作的な表現に挑戦しようとしている。	作品 制作態度 鑑賞態度

※　表中の観点について　a:美術への関心・意欲・態度　b:発想や構想の能力
c:創造的な技能　d:鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。